

// 会社の概要 (2022年5月31日現在)

商号 アルテック株式会社
設立年月日 1976年5月15日
資本金 5,527,829千円
従業員数 137名(グループ全体415名)
所在地 東京都中央区入船二丁目1番1号
住友入船ビル2階

// 役員 (2022年5月31日現在)

代表取締役会長 張 能 徳 博
代表取締役社長 池 谷 壽 繁
取締役常務執行役員 陶 山 秀 彦
取締役執行役員 井 上 賢 志
取締役執行役員 于 勇
取締役執行役員 山 根 清 秋
取締役執行役員 片 山 浩 晶
社外取締役 宮 本 康 廣
社外取締役 荒 井 敏 明
社外取締役 中 尾 光 成
社外取締役 中 辻 義 則

常勤監査役 藤 田 清 貴
社外監査役 石 川 剛
社外監査役 豊 島 絵

執行役員 山 岸 利 光
執行役員 野 上 彰
執行役員 澁 谷 博 規
執行役員 奥 田 哲 太 郎

// 株式の状況 (2022年5月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式の総数 19,354,596株
株主数 5,158名
大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,527,900	10.59
竹内猛	915,000	6.34
立花証券株式会社	635,000	4.40
株式会社三菱UFJ銀行	505,920	3.51
関西チューブ株式会社	485,000	3.36
共同印刷株式会社	432,900	3.00
株式会社アルミネ	391,000	2.71
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	363,200	2.52
村永八千代	355,476	2.46
由利和久	350,276	2.43

(注) 1. 当社は、自己株式4,925,818株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は、自己株式4,925,818株を除いて計算しております。

// 株主メモ

事業年度
定時株主総会
期末配当金受領株主確定日
中間配当金受領株主確定日
株主名簿管理人
(特別口座の口座管理機関)
同連絡先
(郵便物送付先)

毎年12月1日から翌年11月30日まで
2月
11月30日
5月31日(中間配当を実施する場合)
三菱UFJ信託銀行株式会社

〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(通話料無料)
電子公告により当社のホームページ
(<https://www.altech.co.jp/>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告が
できない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告の方法

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この冊子は環境への配慮のため、FSC®森林認証紙と植物油インキを使用しています。

第47期 中間報告書

2021年12月1日
～2022年5月31日



ALTECH
アルテック株式会社

証券コード：9972

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第47期第2四半期連結累計期間（2021年12月1日から2022年5月31日まで）のアルテックグループの営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2021年12月1日～2022年5月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第6波に対するまん延防止等重点措置が2022年3月に全面解除され、経済活動の正常化が進む中で持ち直しの動きが見られたものの、原材料価格の高騰や急激な円安進行等の下振れリスクが顕在化し、不透明感を増す状況となりました。一方、海外においては、多くの国々で経済正常化が進み回復基調となったものの、中国ではゼロコロナ政策により厳格な活動制限が広範囲で実施されたことにより持ち直しの動きに鈍化が見られました。今後は、ワクチンの追加接種等により、新型コロナウイルス感染症流行による経済への影響は限定的となるのが期待されるものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響等による原材料価格の上昇や供給不足、サプライチェーンの混乱等が懸念されます。このような市場環境の下、当社グループは、2021年1月に策定した中期経営計画の基本方針に基づき、商社事業においては、既存商権で安定した収益を確保したうえで周辺機器への商権拡大と提案力の向上、無人化や非接触等の社会課題の解決に貢献する商品・サービスの提供に取り組んでおります。プリフォーム事業においては、生産効率改善の推進、樹脂使用量の削減と再生素材の使用による環境負荷の低減に取り組んでおります。この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,932百万円（前年同四半期は6,254百万円）、営業利益418百万円（前年同四半期は324百万円）、経常利益415百万円（前年同四半期は351百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益293百万円（前年同四半期は284百万円）となりました。（セグメント別）

商社事業につきましては、前年同四半期は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴う活動制限の影響により一部の取扱商品に検収遅延が発生していましたが、当四半期は、ミネラルウォーター製造ラインやガラス強化炉装置等の検収が完了したこと等により前年同四半期に比べ増収増益となりました。

プリフォーム事業につきましては、飲料用プリフォームの販売数量の増加等により前年同四半期に比べ増収となりましたが、原材料価格の上昇等により減益となりました。

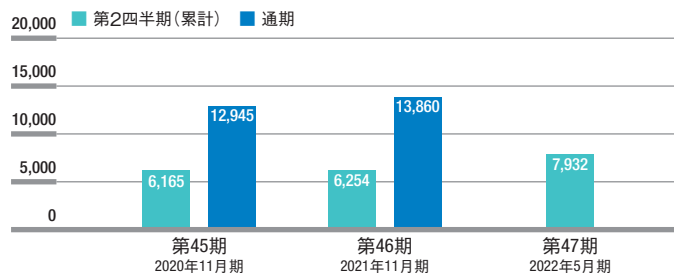
引き続き株主の皆様には一層のご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



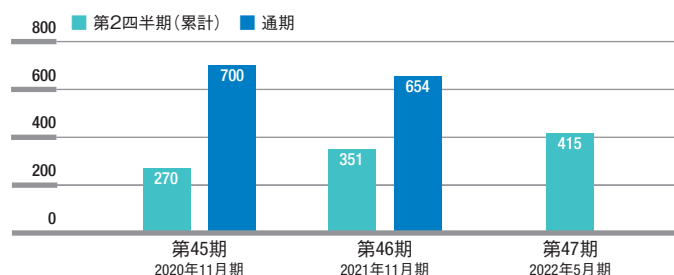
2022年8月
代表取締役社長
池谷 壽繁

連結業績ハイライト

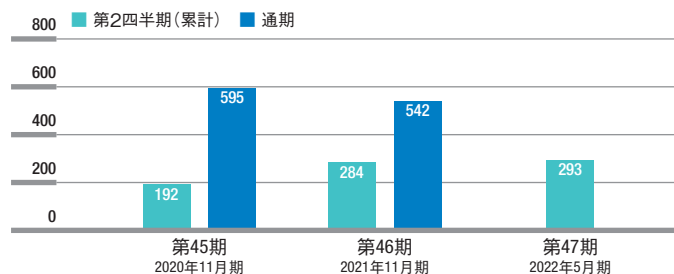
売上高（単位：百万円）



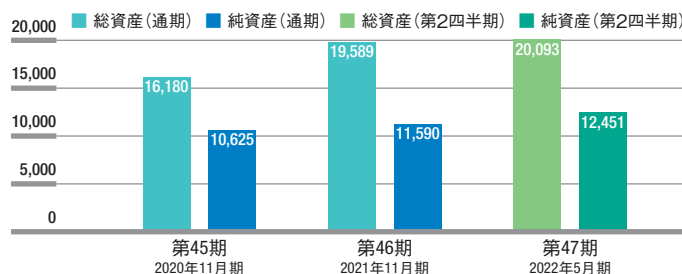
経常利益（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



総資産／純資産（単位：百万円）



トピックス

“アルテックグループのサステナビリティへの取り組み”

アルテックグループは、すでにビジネスや教育等でも世界の共通言語となりつつあるSDGsやESGへの取り組みを重要な経営課題と捉え、これまでに培った「お客様との絆」を事業基盤とし、世界中の優れた商品を提供しモノづくりの支援を通じて、企業価値の向上と持続可能な社会の実現をめざしてまいります。

これからの環境・社会問題への影響を見据え、「技術革新の取り組み」と「脱炭素社会への貢献」を重要課題として特定しております。主な取り組みとして、「水資源の有効活用」、「ボトルtoボトル」、「カーボンニュートラル」および「水素エネルギー社会」といった社会課題の解決に貢献し、お客様と協力し合うことで皆様のご期待に応えてまいります。

■「水資源の有効活用」：自動洗浄式ろ過装置を利用したの排水循環リサイクル

- ・自動洗浄式ろ過装置のフィルター（画像右）



■「ボトルtoボトル」：PET樹脂再生装置の導入

- ・使用済みPETボトルから作られたリサイクルPET樹脂およびプリフォーム（画像右）



■「カーボンニュートラル」：太陽光発電設備の導入や売電等のサービス提供

- ・太陽光パネル（画像右）



■「水素エネルギー社会」：CO₂を排出しないクリーンエネルギーの促進に貢献

- ・フィラメントワイナダー装置で製造した水素タンク（画像右）

